

項 目

1. はじめに

平面図作成 Plug-in (プラグイン) とは、「JwwCad に平面図作成機能を追加するための専用ツール」のことをいいます。 P01

2. 1/100 平面図、平面詳細図の作成機能 P02

3. 作図レイヤ P03

4. メニューの表示方法 P04

5. 作図方法 P05

6. DOS 窓を表示させない方法 (windows10、windows7) . . . P14

1. はじめに

● JwwCad 用 平面図作成ツール Plug-in 無料版改訂 概要

=====

ソフト名	JwwCad 専用 平面図作成ツール Plug-in 無料版改訂
バージョン	平面詳細図で柱サイズ 120 x 120mm と 105 x 105mm 切り替えが可能
環 境	JwwCad が可動する Windows 7、windows8、windows10、windows11
種 別	略平面図作成ツール、1/100 平面図ツールと平面詳細ツール。
作 者	上野建築設計事務所 上野友則
連 絡 先	uenoksj@kbd.biglobe.ne.jp

=====

JwwCad 用 略平面図ツール、1/100 平面図作成ツール、平面詳細図ツール Plug-in
について

これらのツール無料です。

JwwCad での 1/100 平面図作成ツールは縮尺 1/100 木造平面図専用です、平面詳細図ツールは木造平面詳細図作成専用です。

これらのツールは柱、壁、建具を線一本ずつ描いていく手間を省き作図手間を軽減する目的で作成しました。

ただし「家具」や「設備」のデーターはメーカー製品の部品を貼り付けとなります。

○ 1/100 木造平面図の作成機能

概 要

柱

壁（大壁、真壁、片面大壁片面真壁）

建具（引違 4 枚、引違 2 枚、ドア、親子ドア、両開ドア、折戸片扉
折戸両扉、引戸、装飾窓）

室名称貼付け機能

1. 柱ツール：印刷時に外形を通常の太さ、クロス線を細線で描きます。
自動で柱レイヤに振り分けます、レイヤごとの編集作業が可能です。
2. 壁ツール：印刷時に下地線を細線で仕上げ線を通常の太さで描きます。下地線を下地レイヤに作図し仕上げを仕上げレイヤに自動で振り分けます。仕上げレイヤのみを表示して包絡処理がスムーズにできます。
3. 建具ツール：印刷時に下地線を細線で引き違い部分を通常の太さで描きます建具レイヤに自動で振り分けます。
4. 室名称貼付機能ツール：頻度の多いと思われる室名称をメニューから選択して貼り付ける機能です。文字レイヤに書き込みます。

○ 平面詳細図の作成機能

概 要

柱：構造柱 柱サイズ 120 x 120mm 切り替えて 柱サイズ 105 x 105mm

壁：（大壁、真壁、片面大壁片面真壁）間柱を自動割り付けで作図

建具：（引違 4 枚、引違 2 枚、ドア、親子ドア、両開ドア、折戸片扉
折戸両扉、引戸、装飾窓）を詳細作図

室名称貼付け機能

1. 操作方法は 1/100 平面図作成操作と同じです。
2. 柱サイズ 120x120mm と柱サイズ 105 x 105mm の切り替えは「Jww 使用中であってもデスクトップ上にある「105 x 120」をクリックし 105mm 又は 120mm を選択ですることによって簡単に切り替わります。

2.インストールと初期設定について

①. インストールは「①jwheimenall」をダブルクリックし②～④の各設定を実行しメニューを行ってください。

②. DOS 窓が開きますが、これを表示させない設定方法をこのマニュアルに記載しています簡易版ですすでに設定している方は必要ありません。

(Windows10 用、Windows7 用)

表示させない方法は他に色々あるようです、記載したこの方法がベストという訳では有りませんので、あくまでも参考ということでお願いいたします。

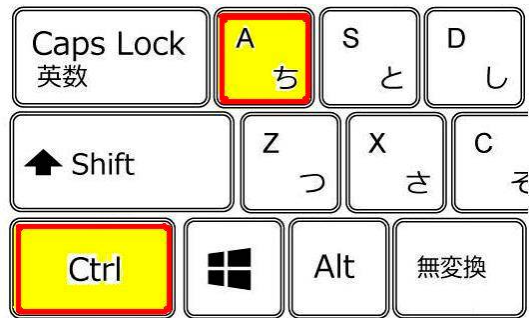
3. 作図レイヤ

自動書き込みレイヤ

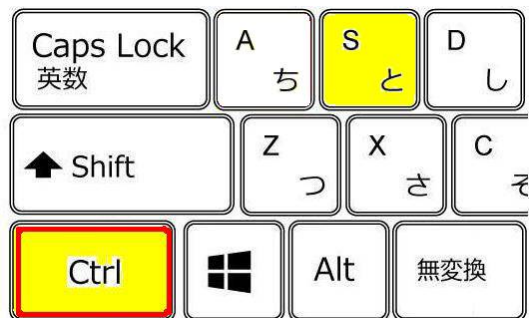
グループ[0] レイヤ	作図	線色		線種		
		画面	印刷	画面	印刷	
0	柱	黒	黒	実線	通常	プラグイン
1	壁仕上	黒	黒	実線	通常	プラグイン
2	壁下地	水色	黒	実線	細線	プラグイン
3	建具	黒	黒	実線	通常	プラグイン

4. 専用メニュー呼び出す方法。

◎ 平面図 1/100 作成の場合は



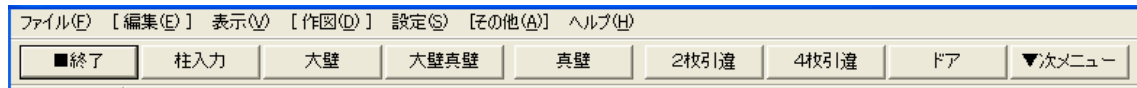
◎ 平面詳細図作成の場合は



○ 作図方法

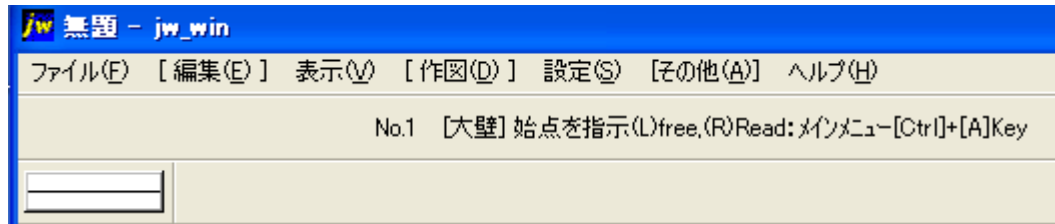
平面図 1/100 起動では

このメニュー画面を表示しますので該当項目をクリックして作図をしてください。



項目を選んでクリックすると作図モードになります。

作図中は下の画面に切り替わります



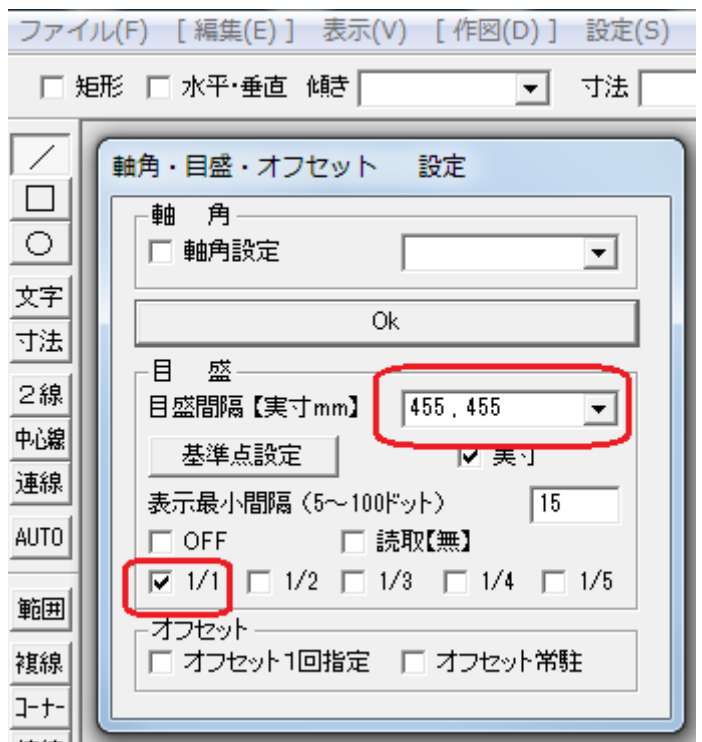
メニューに戻る時はもう一度キーボードの[Ctrl]+[A]キーを押してください。

◎ 目盛 455 の表示（グリッド）で作業をします。（必ずグリッド表示でお使いください）

目盛の設定は[設定(S)]より[軸角・目盛・オフセット(J)]をクリック



455、455 を入力



目盛りグリッドをマウスを右クリック(R)Read で指示しグッドにポイントをして頂くことにより快適に作図作業が進められます。

◎ 柱の入力

メニューから選択：例 1 柱 を選択して作図

■1/100終了 柱入力 大壁[柱付] 大壁 大真壁[柱付] 大真壁 真壁[柱付] 真壁 ▼1/100次項

↑このボタンをクリック

作図方法：始点をクリック

グリッドをクリック マウスを右クリック

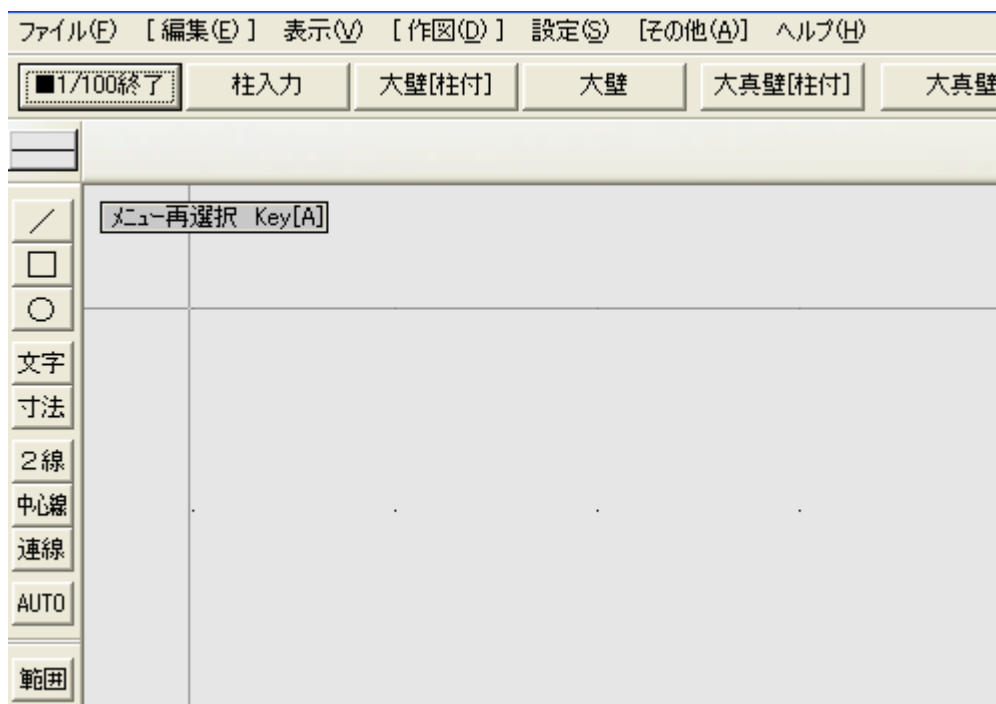
点の入力

グリッド 柱レイヤ0に作図

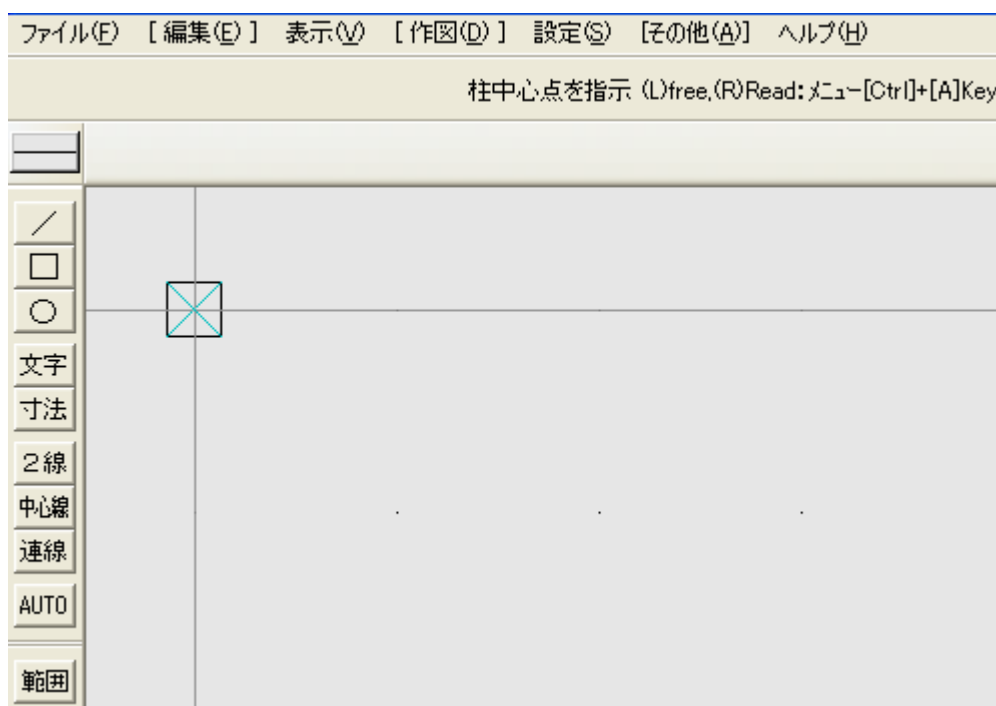
柱レイヤ 壁レイヤ 下地レイヤ

各レイヤごとに自動で振り分けをし線の太さも自動で決め作図します。
柱線太さ2 ×の線は太さ1で自動作図

柱中心点を指示 (L)free,(R)Read で入力します。(R)Read で指示し作図をすることをお奨めします。自動で柱レイヤに振り分けます。印刷時に外形を通常の太さ、クロス線を細線で描きます。



(R)Read クリックで作図



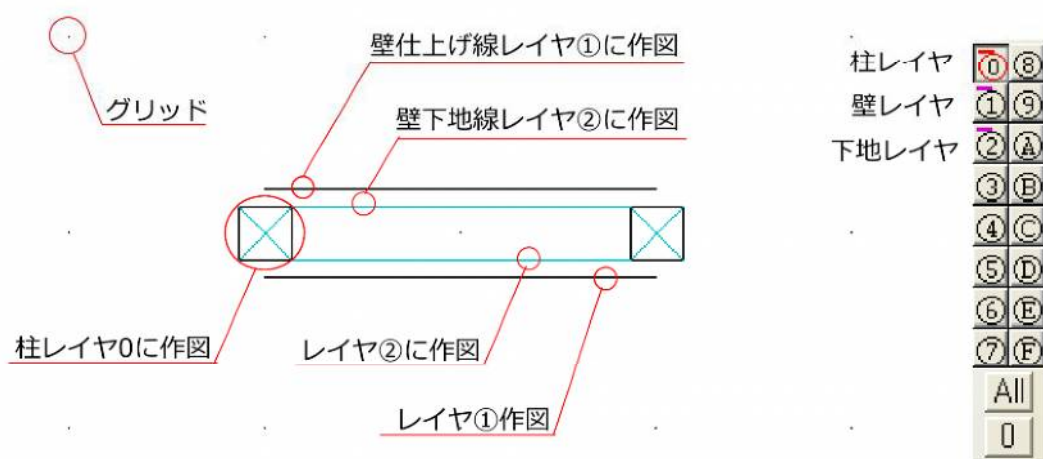
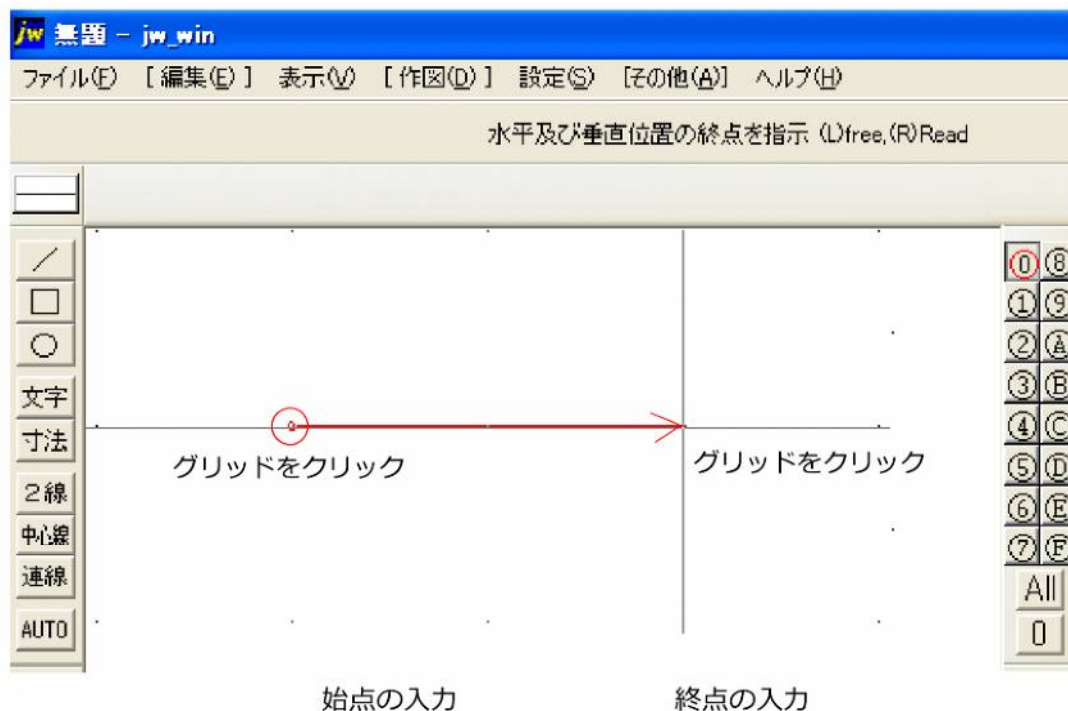
◎ 大壁

メニューから選択：例 1 大壁[柱付]を選択して作図



↑ このボタンをクリック

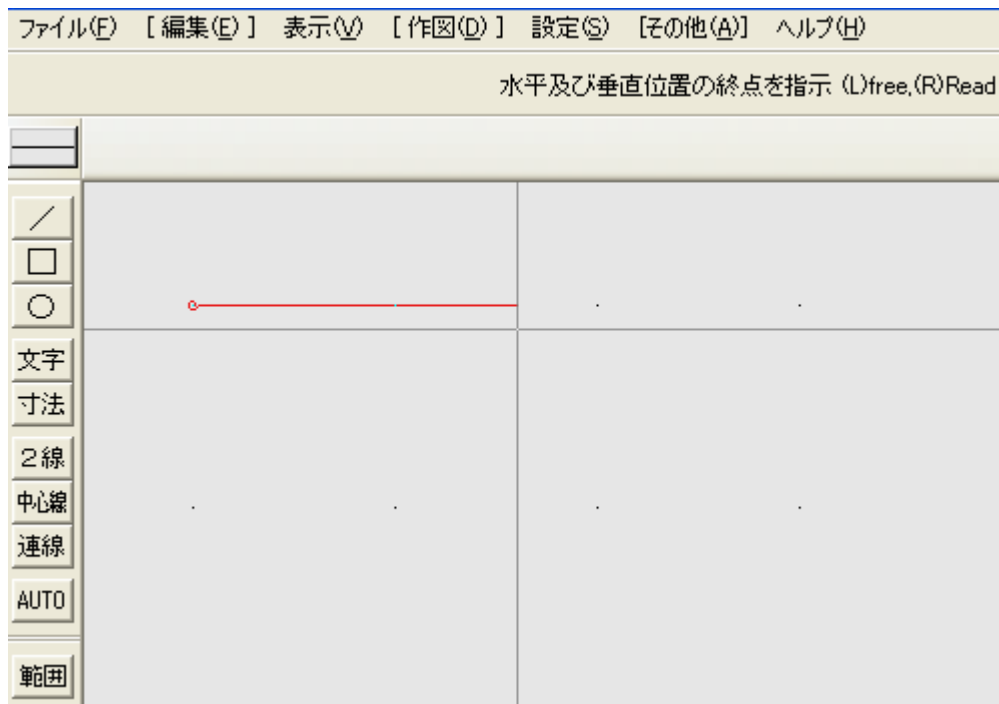
作図方法：始点をクリックし終点をクリック



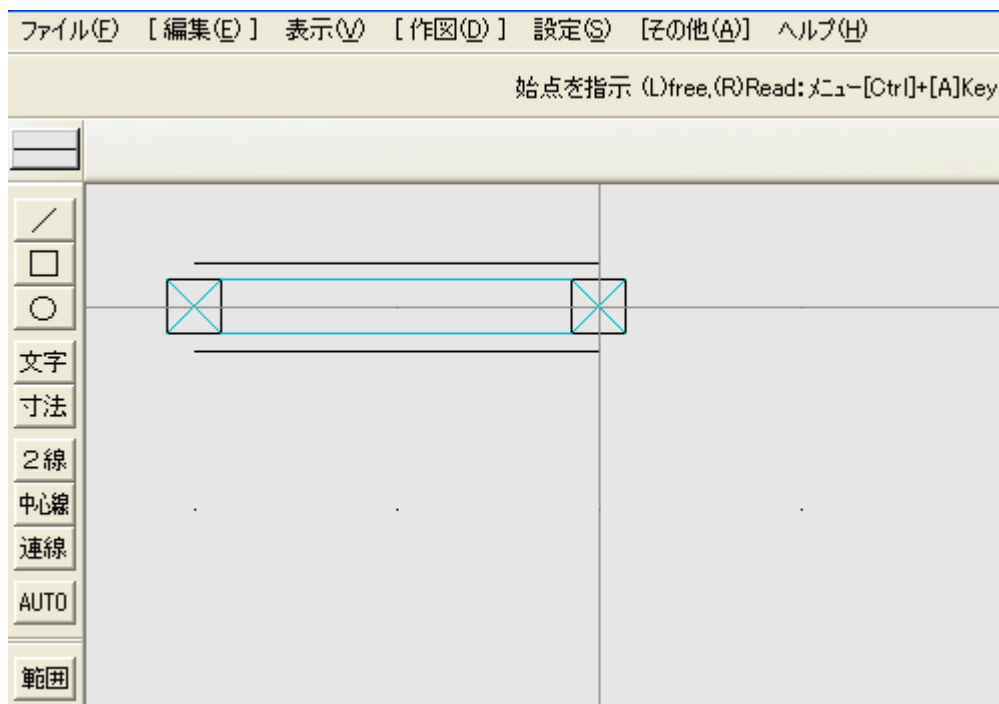
各レイヤごとに自動で振り分けをし線の太さも自動で決め作図します。
壁仕上線太さ2、壁下地線太さ1、柱線太さ2 ×の線は太さ1で自動作図

最初に[大壁] 始点を指示 (L)free,(R)Read で入力します。

次に [大壁] 水平及び垂直位置の終点を指示 (L)free,(R)Read

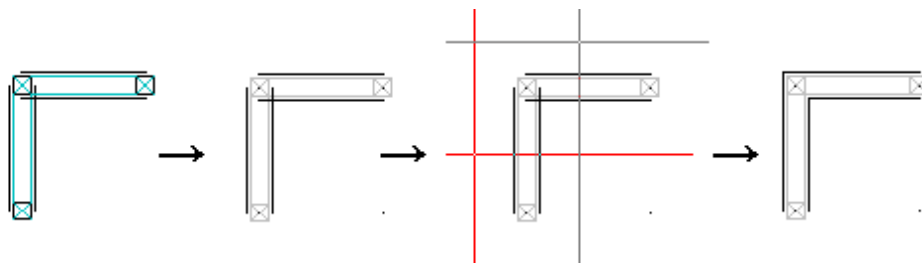


(R)Read クリックで作図



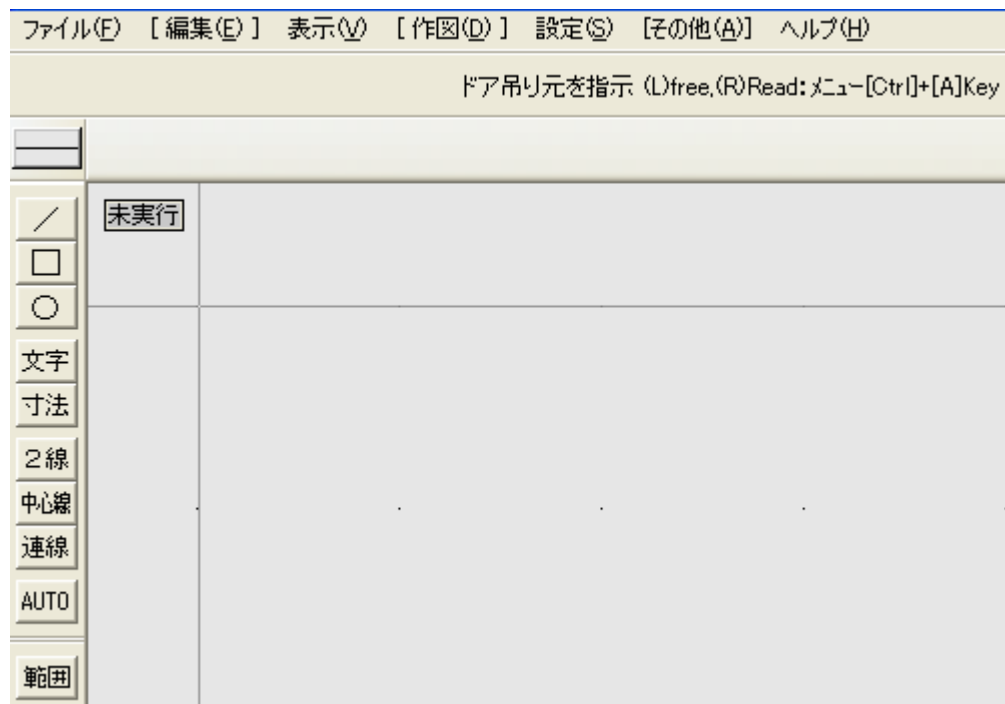
下地線を細線でレイヤ 2 に、仕上げ線を通常の太さで仕上げレイヤ 1 に自動振り分けます。

作図入力完了後大壁どうしの接点は仕上げレイヤ 1 表示で包絡処理を行ってください。

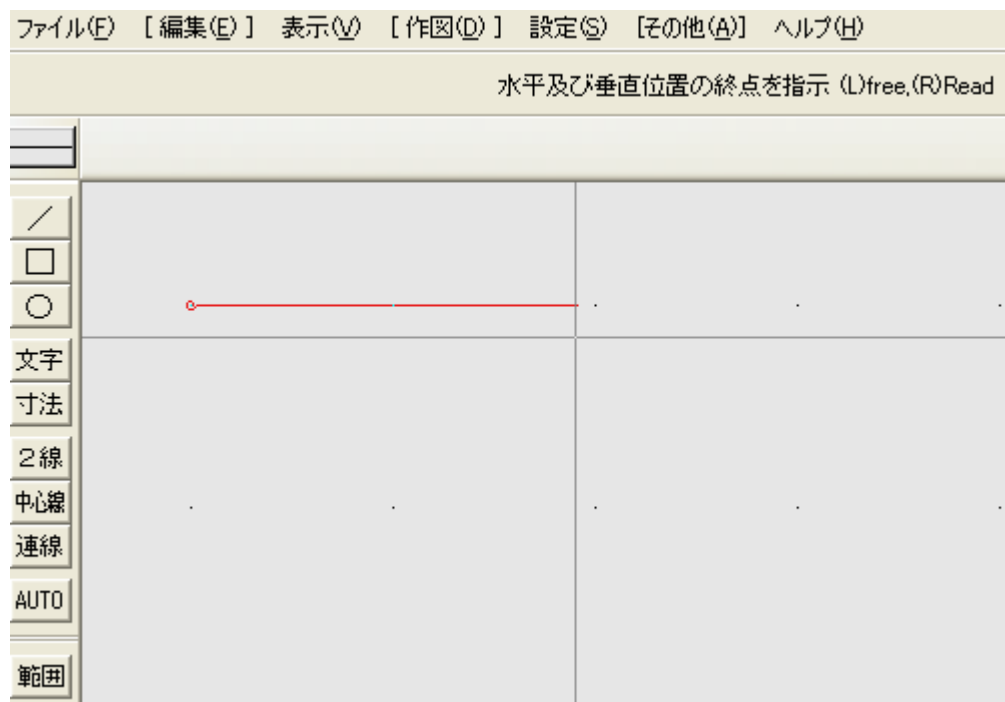


◎ ドア

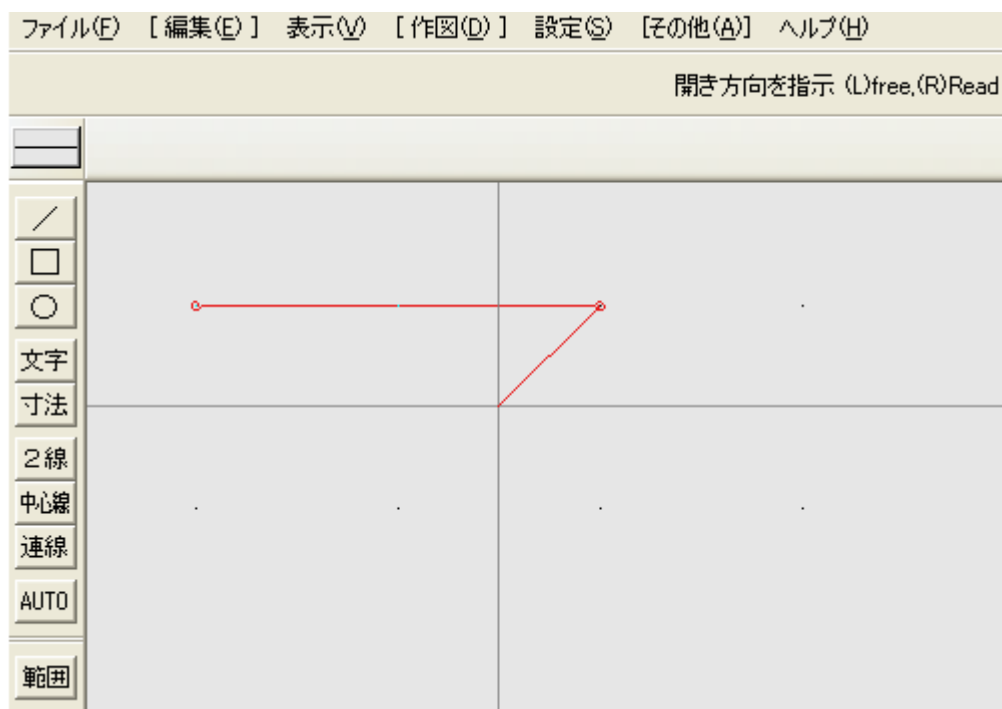
最初にドア吊り元を指示 (L)free,(R)Read で入力します。



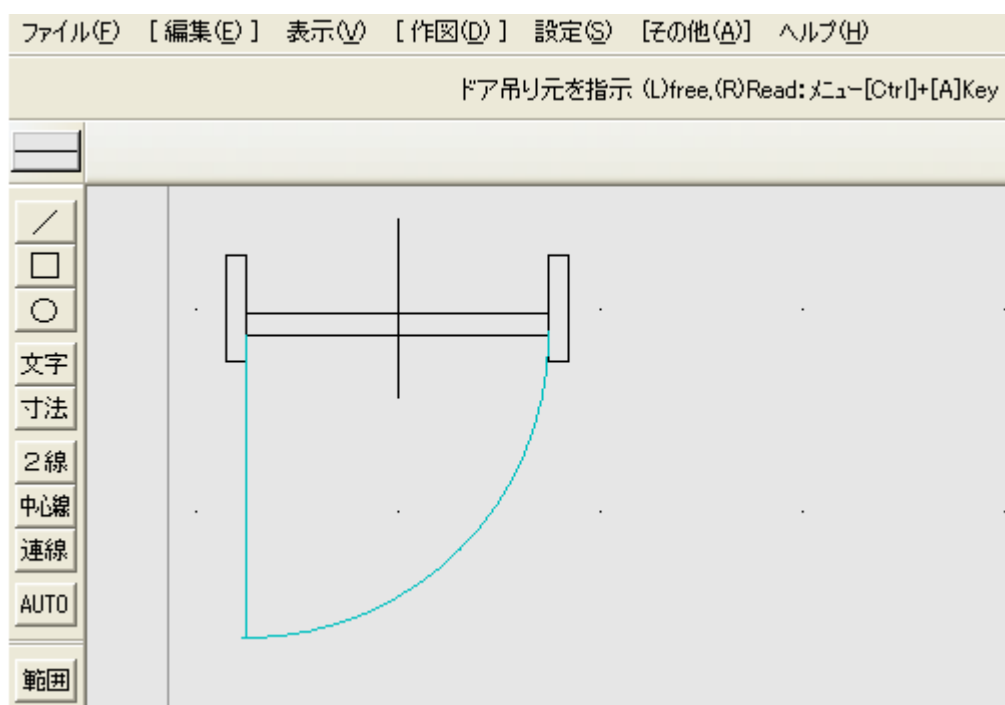
次に水平及び垂直位置の終点を指示 (L)free,(R)Read



次に開き方向を指示 (L)free,(R)Read



建具レイヤに自動で振り分けます。印刷時にドアを通常の太さ、開き線を細線で描きます。



◎ 引違 2 枚

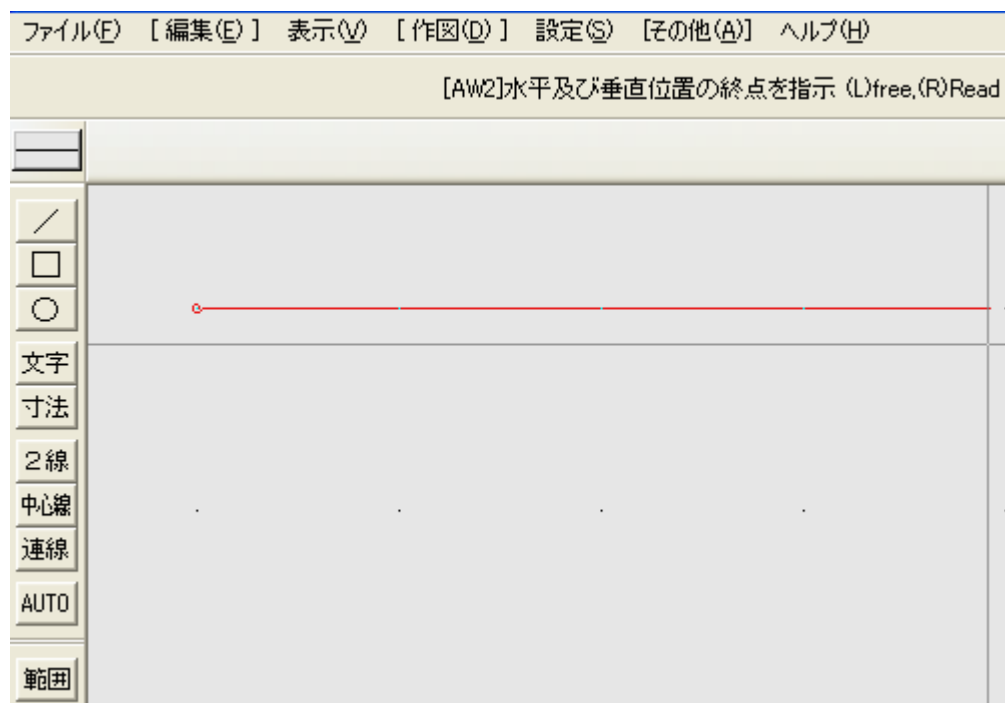
最初に[AW2]始点を指示 (L)free,(R)Read で入力します。

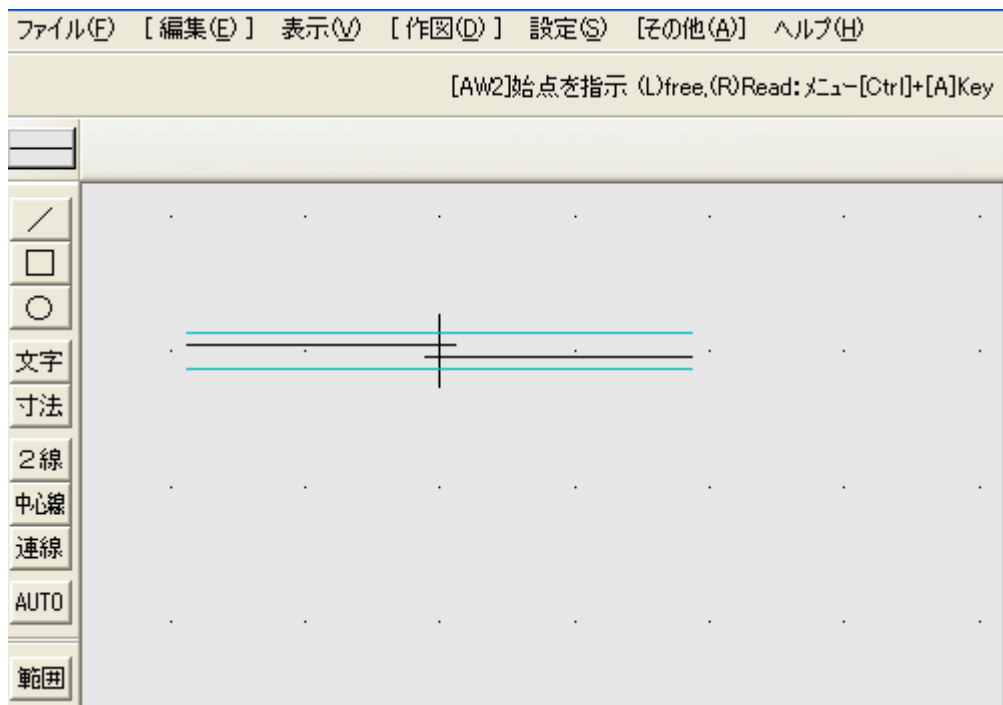
建具ライヤに自動で振り分けます。

印刷時に引き違い線を通常の太さ、枠線を細線で描きます。



次に [AW2]水平及び垂直位置の終点を指示 (L)free,(R)Read





◎ 引違 4 枚

最初に[AW4]始点を指示 (L)free,(R)Read で入力します。

次に [AW4]水平及び垂直位置の終点を指示 (L)free,(R)Read で入力します。

次に 建具内側面 を指示 (L)free,(R)Read で入力します。

建具ライヤに自動で振り分けます。

印刷時に引き違い線を通常の太さ、枠線を細線で描きます。

◎ 真壁

最初に[真壁]始点を指示 (L)free,(R)Read で入力します。

次に [真壁]水平及び垂直位置の終点を指示 (L)free,(R)Read

タイプ 1 は下地線を細線で下地レイヤに、仕上げ線を通常の太さで仕上げレイヤに自動振り分けます。タイプ 2 は仕上げレイヤに作図します。

印刷時に仕上げ線を通常の太さ、下地線を細線で描きます。

◎ 大真壁

最初に[大真壁]始点を指示 (L)free,(R)Read で入力します。

次に 水平及び垂直位置の終点を指示 (L)free,(R)Read

次に 真壁側を指示 (L)free,(R)Read

タイプ 1 は下地線を細線で下地レイヤに、仕上げ線を通常の太さで仕上げレイヤに自動振り分けます。タイプ 2 は仕上げレイヤに作図します。

印刷時に仕上げ線を通常の太さ、下地線を細線で描きます。

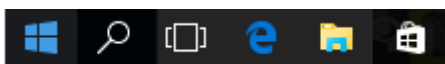
◎ そのほか各メニューに表示された項目を作図することができます。

6-①. Windows10 パソコンの DOS 窓を表示させない方法

● 概 要

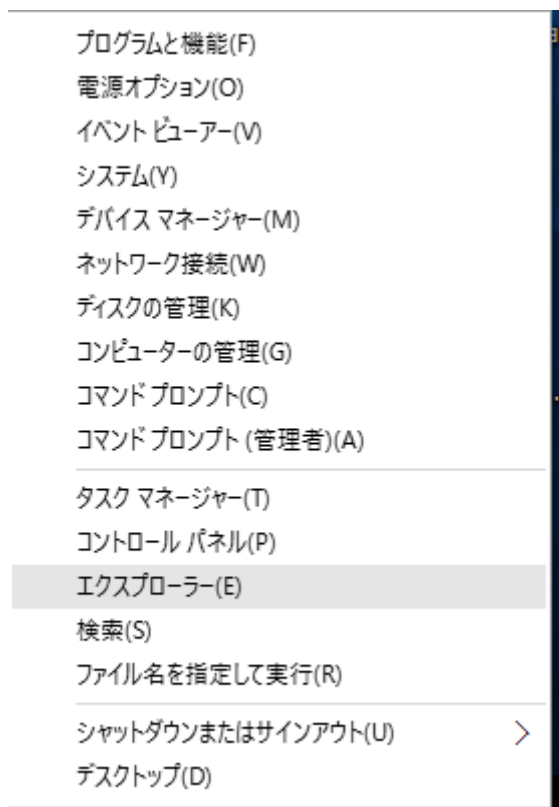
プラグインを使用して作図等の入力時にDOS窓が一瞬表示しますが、気になる方は次の方法で表示を隠す設定をしてください。

① 画面の左り下のスタートボタン



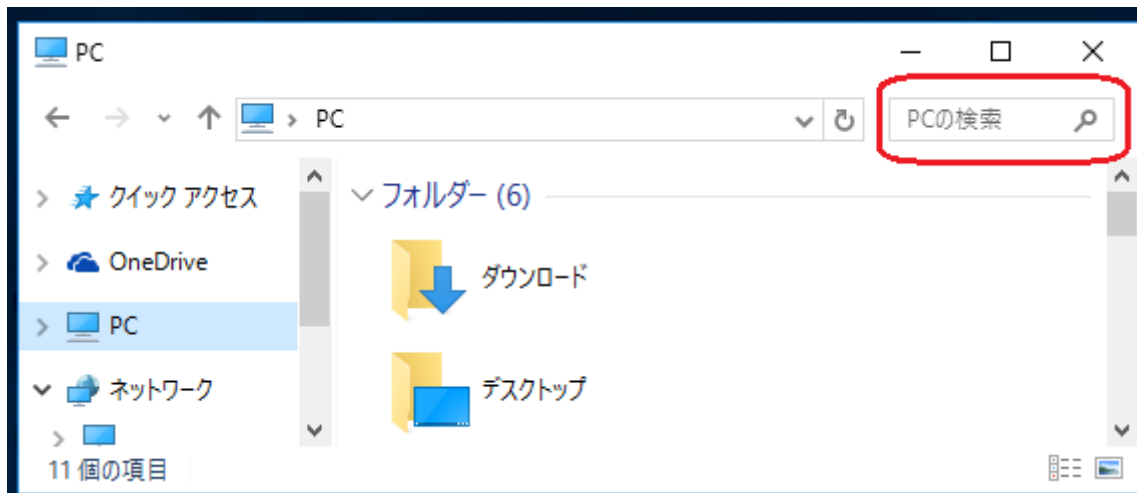
スタートボタンを右クリックします。

② 下記のメニューが表示しますので

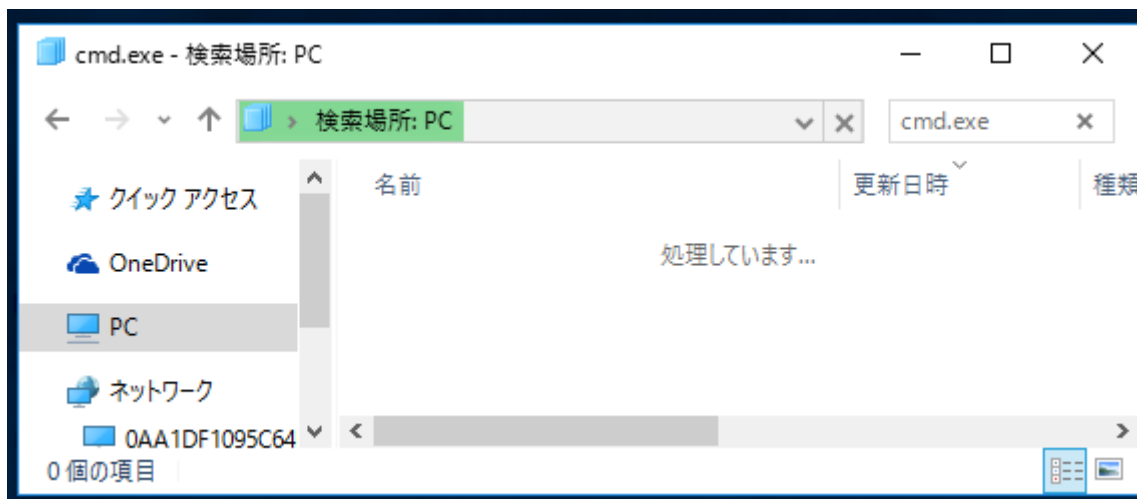


エクスプローラー（E）をクリック。

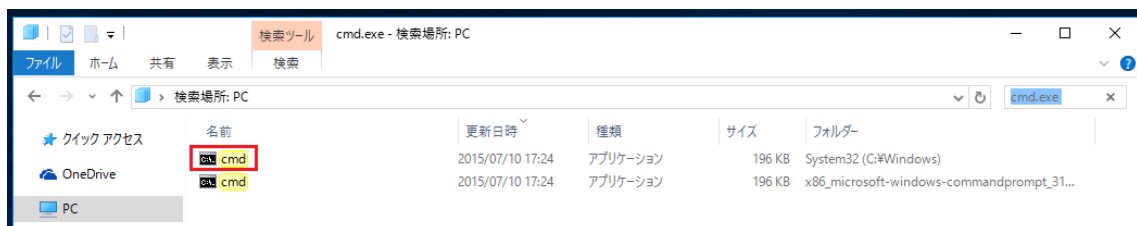
③ PC 内の cmd.exe を検索



赤枠の中の PC の検索 に cmd.exe と 入力します。

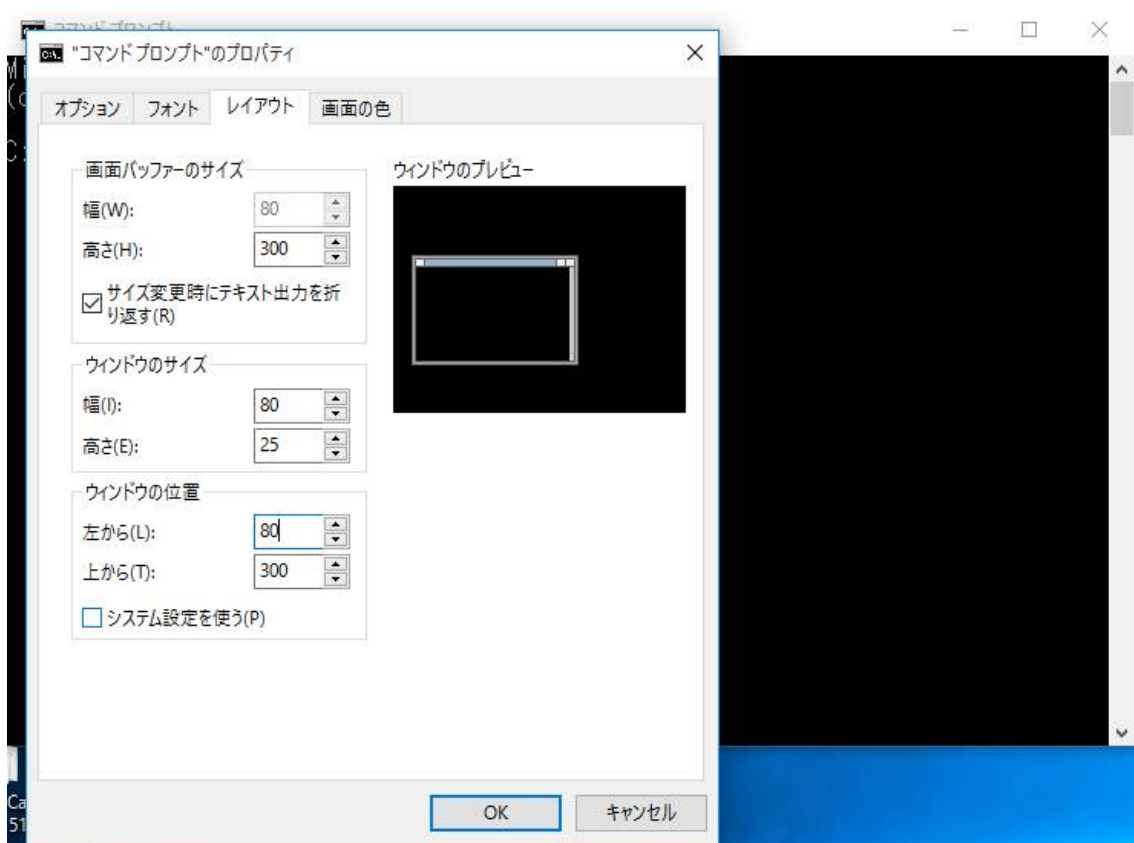


検索が済むと 下記を表示しますので cmd をクリックします



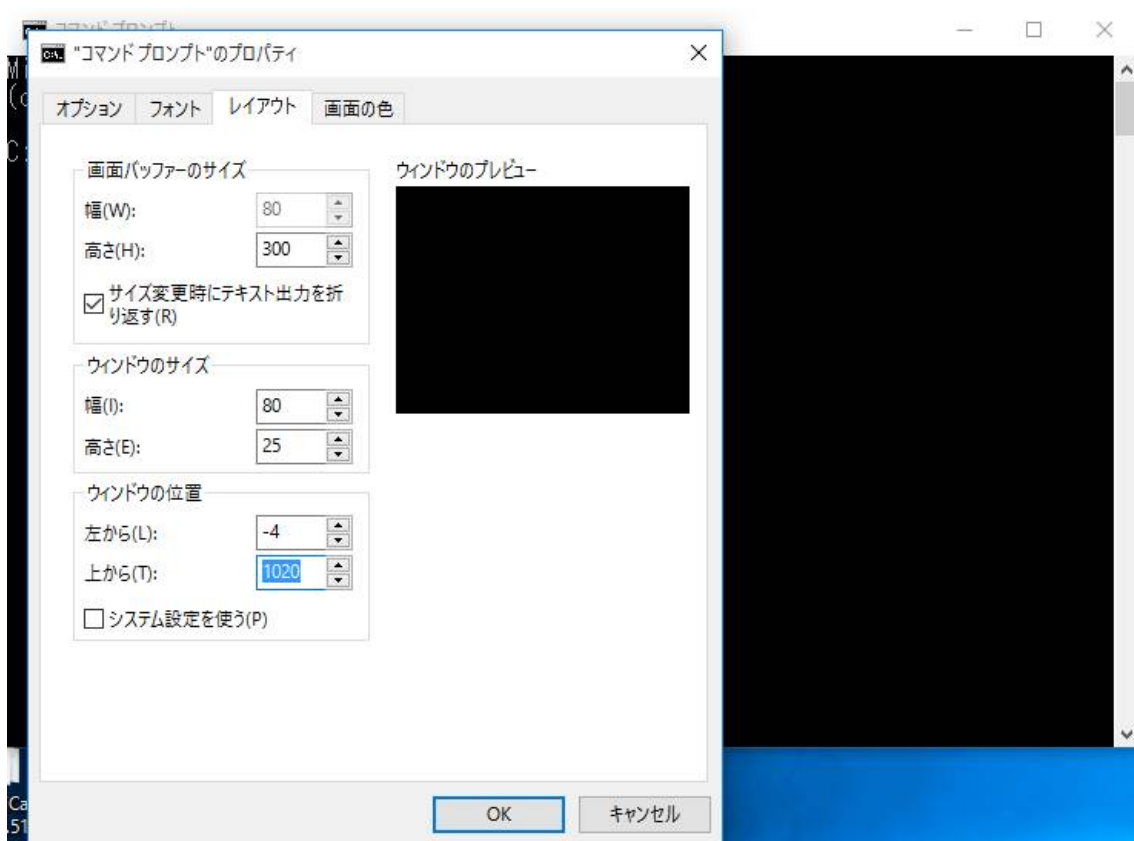
④ DOS 窓を表示しますのでタイトルバーを右クリックで項目を表示させます。
プロパティをクリックします。

- ⑤ コマンドプロンプトのプロパティのレイアウトを選択します。



システムの設定を外します。

- ⑥ ウィンドウの位置の項目が入力できる状態になりますのでウィンドウの位置に数値を入力又は矢印キーを押して画面上から追い出します。



OK をクリックして完了です。

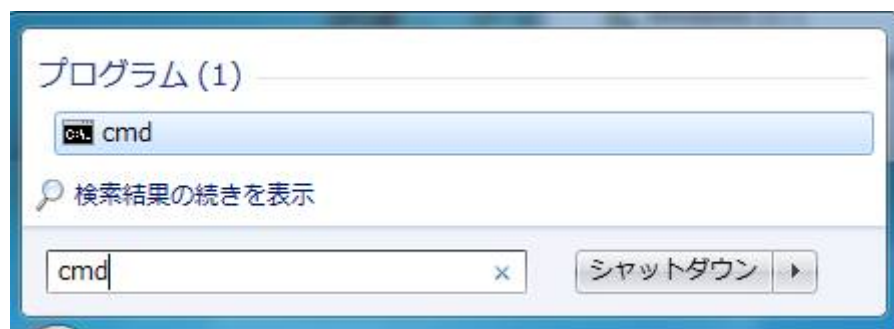
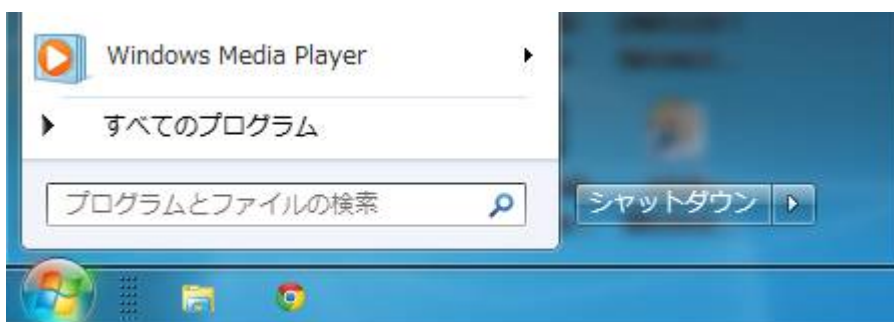
6-②. Windows7 パソコンの DOS 窓を表示させない方法

● 概 要

プラグインを使用して作図等の入力時にDOS窓を一瞬表示しますが、気になる方は次の方法で表示を隠す設定をしてください。

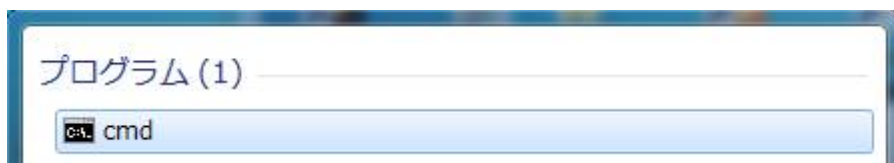
● 方 法

- ① 「スタート」から「プログラムとファイルの検索」に「cmd」と入力。



「C:\WINDOWS\SYSTEM32」フォルダに「cmd」が見つかりました。

- ② cmd をクリックして起動します。

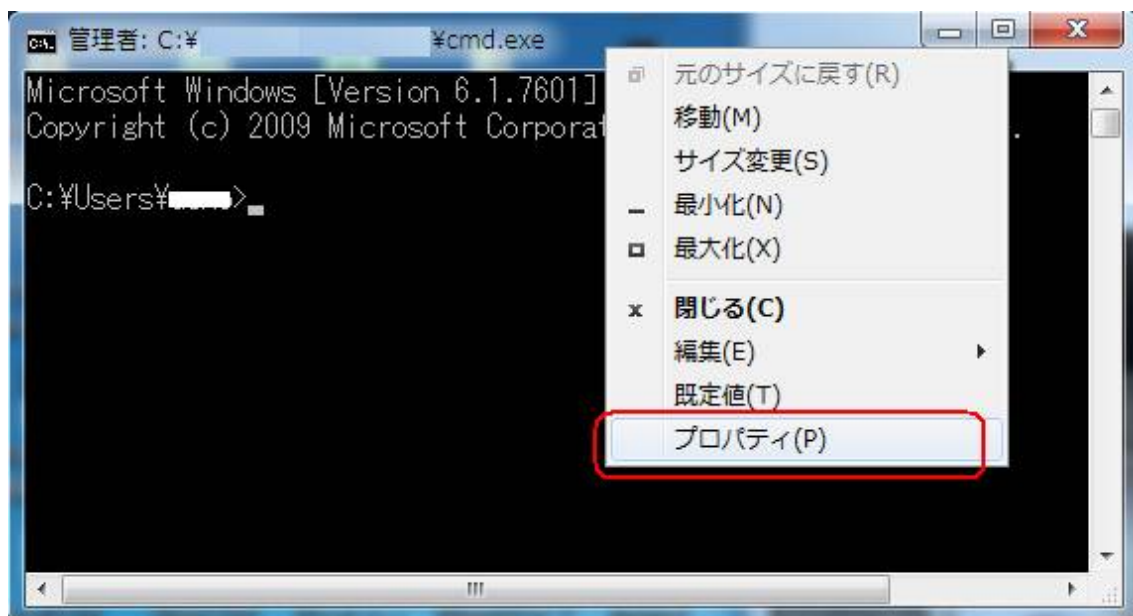


③ DOS 窓を表示

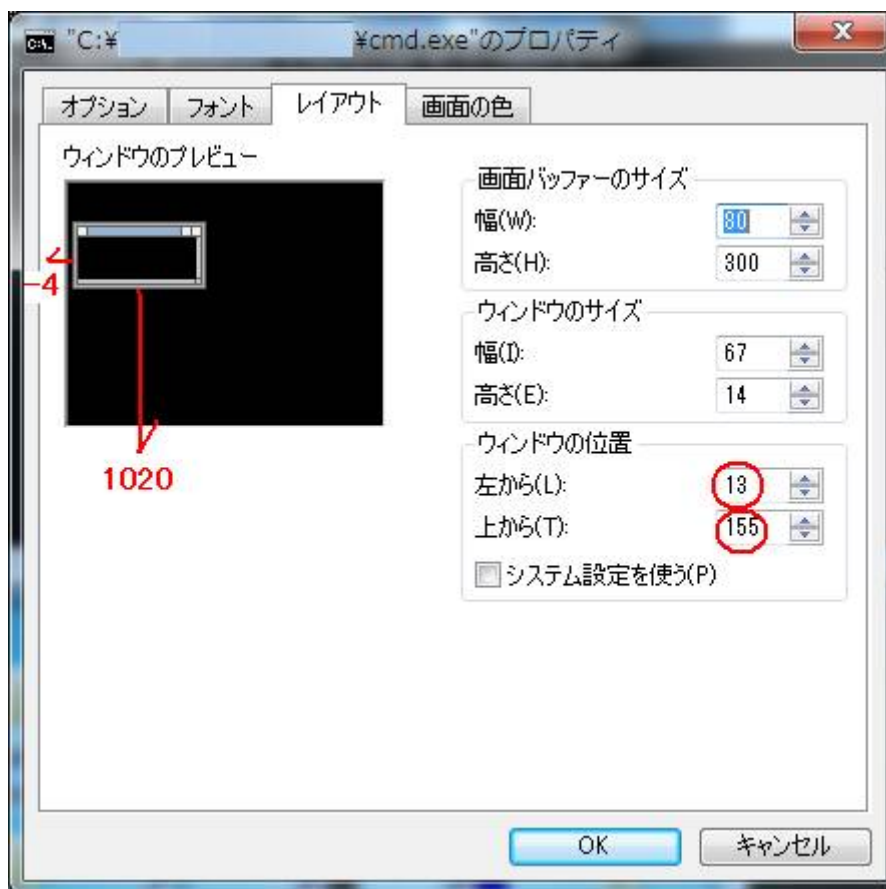


タイトルバーを右クリックで項目を表示させます。

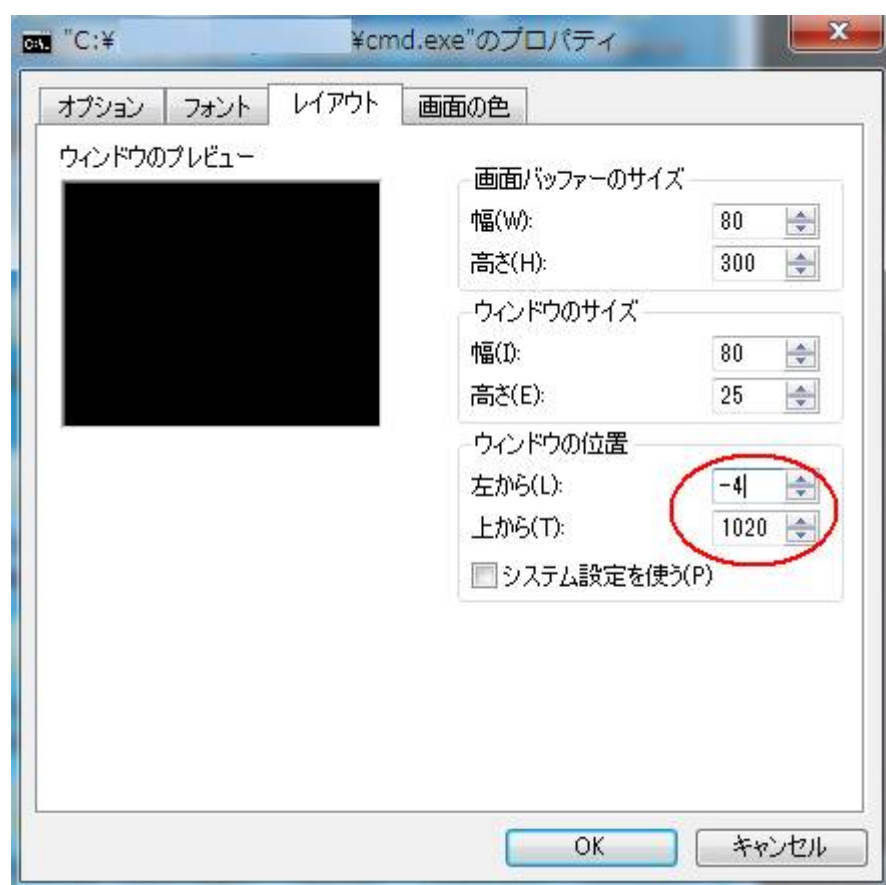
④ プロパティ(P)をクリック



- ⑤ システムの設定を使う(P)のチェックを外します。ウィンドウの位置の項目が入力できる状態になりますのでウィンドウの位置に数値を入力又は矢印キーを押して画面上から追い出します。



- ⑥ 追い出しましたら「OK」をクリックします、これで設定は完了です。



パソコンの画面の設定により数値が変わりますのでご注意ください。

(例) 1028 x 1024 の場合は左からが-4 で上からからが 1020 です。

「OK」をクリックして設定を完了させてください。

=====

著作権

JwwCad 用 平面図作成 Plug-in 無料版 は、上野建築設計事務所 上野友則 が著作権を有しております。

本製品の全部または一部を無断で複製したり、複製物を配布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。

=====

保証および免責

製品には万全を期しておりますが、製品に瑕疵のないことやすべてのパーソナルコンピュータにおいて作動を保証するものではありません。本プログラムの利用により直接的間接的を問わず生じた損害について、一切の責任を負いませんので、ご承知願います。

お問い合わせ

上野建築設計事務所 上野友則

メールアドレス：uenoksj@kbd.biglobe.ne.jp

=====

以上です。

上野建築設計事務所 上野友則

メールアドレス：uenoksj@kbd.biglobe.ne.jp